

10 安城市小川町内会（安城市）

地域自主防犯活動活発化促進事業

実施結果報告書

1 団体名	安城市小川町内会
2 事業名	防犯の抑止活動で地域の安全・安心を！
3 事業実施 結果	<p>小川町は、安城市の南東部に位置し、岡崎市と西尾市との市境にあるまちで、農業が盛んに行われ、住宅地と農地が混在する地域です。また、国道23号線が近接し県道等道路網が発達しており、近隣市などからも犯罪者が入ってきやすく、また逃走ルートも確保しやすいことなどから、平成29年、30年と2年連続して犯罪が増加し、侵入盗についても前年の3倍近くも増加し、自動車盗も町内別ワースト3位の発生状況でした。</p> <p>今年度は、安城市市民安全条例に基づき「犯罪抑止モデル地区」の指定を受け、町内の自主防犯活動のほか市、警察、企業と連携した取り組みを実施し、侵入盗、自動車盗の撲滅を目指し、住民の防犯意識を高め、小川町地内及び周辺部の犯罪の減少を目指し、地域を挙げて安全なまちづくりを進めました。</p> <p>1 活動の活発化（A事業）</p> <p>（1）ながら見守りパトロール</p> <p>散歩、犬の散歩、花の水やりなどの際にタスキ、緊急ホイッスルを着装することで、普段の行動がパトロール活動となり、地域の防犯力アップにつながります。なお、気軽に気長に見守り活動ができるよう、パトロール隊とはしませんでした。</p> <div data-bbox="392 1505 928 1906"></div> <div data-bbox="944 1505 1485 1906"></div> <p>ながら見守りパトロール出発式を開催し、警察官と一緒にパトロールを実施</p>

(2) 児童パトロールの実施

安城警察署の協力を得て、小学生をパトカーの後部座席に乗車させてもらい、マイクを使って防犯広報を実施しました。



地域の方に見守られ、パトロールに出発

(3) 連絡網の見直し

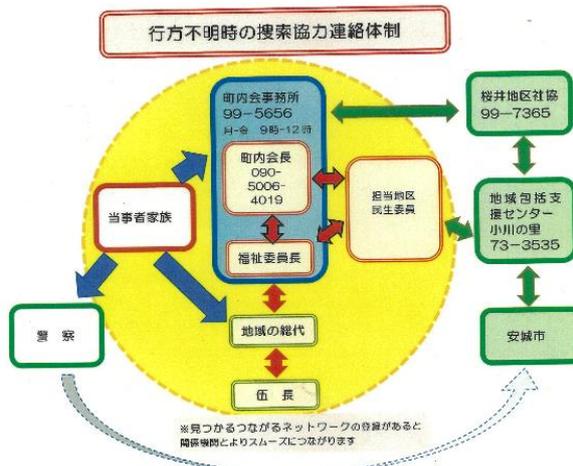
これまで形骸化していた連絡網を刷新し、一目でわかる連絡網を作成しました。

実際に、民生児童委員の方から情報提供を受け、警察、市役所の協力を得て事案解決をしました。

① 地域見守り活動用の連絡網



② 行方不明者用の連絡網



(4) パトロールの実施

町内会では、定期的に住民による徒歩や青色パトロールカーによる防犯警戒活動を実施しています。

2 防犯啓発・人材育成 (B事業)

(1) かぎかけスタンプラリーの実施

飲食店の協賛を得て、かぎかけスタンプラリーカードを作成し、子ども会加入者に夏休み期間中を利用して、スタンプラリーに参加してもらいました。子どもが鍵掛けを確認することで家族内の防犯意識の向上が図られました。



(2) 児童体験型防犯教室の開催

小学生を対象に、防犯ボランティア、安城警察署の協力を得て、体験型の防犯教室を開催しました。

- ①指紋採取体験 (鑑識)
- ②防犯かるた
- ③不審者の見分け方
- ④つみきおに
- ⑤大声コンテスト

5つのコーナーに分かれそれぞれ体験してもらいました。



全体の様子



指紋採取体験



防犯かるた



不審者の見分け方訓練



つみきおに



大声コンテスト

(3) 老人会での防犯啓発活動

各地区で実施される老人会において、警察官や市職員から防犯講話を実施することで、住宅対象侵入盗や振り込め詐欺被害防止に係る防犯意識の啓発を図りました。



警察官による防犯講話

(4) 商業施設における啓発活動

商業施設において、警察、市、防犯協会、ボランティア、自動車整備振興会の協力を得て、ナンバープレート盗難防止ねじ取り付けキャンペーンを実施しました。約100台の車にねじを取り付けるとともに、来店客に防犯啓発用チラシを配布しました。



ナンバープレート盗難防止ねじ取り付けキャンペーン

(5) 回覧板の作成

空き巣被害が発生した際、連続発生をさせないために緊急に回覧板を作成し、住民に対し、防犯啓発を実施しました。

令和元年8月吉日

緊急回覧

**近隣にて空き巣
どろぼう多発**

【空き巣対策】

1. 家から離れる時は必ず施錠をする
2. ドア・窓に補助錠を付ける
3. 家のは入口に人感センサーライトを取り付ける
4. 長時間家を離れる場合は隣近所に声掛けをする

3 地域連携活動（C事業）

（1）横断幕の設置

町内会の見通しの良い場所に横断幕を設置し、地域一体となった防犯啓発活動を実施しました。



横断幕設置状況

（2）防犯カメラの寄付

小川町内会が、町を挙げて犯罪抑止活動に取り組んでいることを知った安城工場事業所防犯協会から防犯カメラ5台の寄付を受け、さらに防犯力の向上が図られました。



安城警察署にて

<p>4 成果と課題 及び今後の 取組み</p>	<p>(1) 事業実施の成果及び課題</p> <p>ア 成果</p> <p>小川町は、安城市内でも農村地帯にあたり、まだまだ防犯意識の低い土地柄である。このため、鍵を掛ける習慣づけをしてもらうため高齢者のみならず、小学生を中心とした防犯啓発活動を関係機関と協力して実施してきました。</p> <p>また、総代会や各集落の会合等でも防犯啓発活動を実施したことにより、地域住民の防犯意識や一体感が強まりました。</p> <p>その結果、2年連続して増加していた刑法犯認知件数が、令和元年中は17件となり、昨年比15件減少と約半減させることができました。</p> <p>イ 課題</p> <p>地域的には、共働きのサラリーマン家庭や農家が多いため、日中は不在の家が多く、犯罪者に狙われやすい土地柄といえます。</p> <p>犯罪は減少したものの、まだまだ窓ガラスに対する補助錠の設置や家周辺の照明が少なく、一部は犯罪に対する危機意識が低いように感じられます。</p> <p>(2) 今後の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ①引き続き、町内会、各集落の行事等の場において繰り返し犯罪抑止をPR ②防犯カメラの寄贈を受けたが、犯罪の抑止力を高めていくために防犯カメラを増設 ③一人暮らしの高齢者家庭に対する福祉委員会などを通じた見守り活動等が必要 <p>また、「防犯の抑止活動で地域の安全・安心を！」を実践していくために、引き続き市役所や警察署など関係機関と良好な関係を維持して、犯罪ゼロを目指し防犯活動に取り組んでいきます。</p>
----------------------------------	---